あんずの木

平成 30 年 12 月号　　NO.31

12 月らしくない暖かさ。春夏秋冬、やっぱりメリハリがほしいですね。なんとなく出遅れてしまいそうです。クリスマスケーキのろうそくに、オレンジ色の顔が浮かび上がり、ほんの一瞬だけ温かくなる、あの感じももうすぐです。そろそろ心の準備を始めてもよいかもしれません。

放デイは、長い２学期も終わりを迎え、みんなとてものびのびしているなと思います。ひとりひとりの遊びが膨らんでいます。児童は、こちらの都合で少しコンパクトになってしまいました。申し訳ありません。そんな中、支援の原点にもう一度立ち返る機会をいただき、ひとりひとりの子どもの姿や支援を改めて見つめ直し、細かい部分を詰め、じっくり臨める場面も作ることができました。放デイのスタッフが児童の支援に関わることで新たなつながりも生まれました。

地味かもしれませんが、あんずの再スタートに、スタッフ一同、熱いパッションで臨んでいる師走です。ゆく年くる年、今後ともよろしくお願い致します。

―12 月・１月の予定―

12 月 12 日（水）ＳＴ（児童）
12 月 28 日（金）～1 月４日（金）お正月休み
１月　７日（月）支援開始
１月 21 日（月）ＳＴ（児童）
１月 22 日（火）地域連携日（児童・放デイ共にお休みです）

＝お知らせ＝

≪年末年始のお休みについて≫

＊年末は、12 月 27 日（木）が、児童・放デイ共に最終日になります。
＊12 月 28 日（金）～1 月４日（金）は冬休みです。
緊急の連絡がある場合は、**あんず携帯（080 - 8703 - 9655）**までどうぞ。
＊年始は、１月７日（月）から始まります。お間違えのないようご確認ください。

≪来年度の児童・放デイの利用について≫

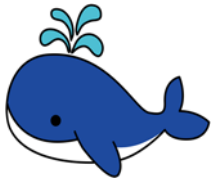
＊12 月中旬より、児童、放デイ共、来年度の利用の希望を伺い始めます。日数や曜日等について、相談の必要がありましたら、早めに声をかけてください。

≪あんずにクルマで来られるみなさんへ≫

＊あんず周辺の安全運転に特にご協力をお願いします。夕方暗くなるのが早くなっています。見通しが悪くなっていますので、放デイのお迎えの際は、あんずの周辺での徐行運転をよろしくお願いします。

くじらクラスの１１月あれこれ

　朝晩寒くなってきましたが、元気いっぱいのくじらクラスでした。
１１月から、朝の会のメニューにボーリングを取り入れています。名前を呼び、ひとりひとり出てきて、テープのところで“気を付け”をします。「せ～の～」の合図でボールを転がし、ペットボトルのピンを倒します。上手に投げるにはコントロールが必要です。
１回で全部倒せたり、何回も投げて倒せたりと、ひとりひとりの姿は様々ですが、全部倒せたときは、みんな「やった～！」と笑顔になりハイタッチ!!



　これからも、いろいろな経験を重ねながら、程よく「できた！」の達成感を感じられる積み重ねをしていきたいと思います。

ペンギンクラスの１１月あれこれ

　スタートからあっという間に半年が過ぎ、慣れたところから、新しいことにチャレンジのペンギンクラスです。
　マット運動や鉄棒、はしご等、曜日によって課題は違いますが、それぞれ、初めて目にする設定に興味津々！「なんだろう？」「どうやるのかな？」と、ちょっぴりドキドキしながらも、見本をよく見て「やってみよう！」と向き合っていく姿が、とても頼もしいです。感覚遊びでは、アイテムを増やしたり、少し変えてみたりすることで、苦手だったことが楽しめるようになったり、違った楽しみ方を見つけられたり。子ども達の表情や反応がとても素敵です♡　またどんなことをやろうかな～♪

　どんな表情を見せてくれるか楽しみです。12 月の歌は、『あわてんぼうのサンタクロース』です。みんなで楽器を使って盛り上げていきましょう。

新しい職員を紹介します！

　はじめまして。恵比須 奈那です。
おしゃべりすること、食べること、体を動かすことが大好きな二児の母です。笑顔で頑張ります。
よろしくお願いします。

放デイのひとり言

　11 月の活動『つくってあそぼう』では、段ボールを素材にして飛行機を作りました。機体、主翼、尾翼の３つのパーツに、色を塗ったり名前や模様を描いたりしてから、切込みに差し込んで組み立てて完成させます。出来上がった子から、ホールで飛ばして遊びました。
　子ども達の作っている姿、飛ばしている姿が真剣です。
　『つくってあそぼう』は、定番の取り組みで紙飛行機を作って飛ばす活動も経験しています。ダンボールの飛行機は、重さがあるので、全身を使って力いっぱい投げて飛ばしたり、回転させて飛ばしたりしていました。ホールは、あんずの航空ショーのようです。
　ちょっと頑張って作った、世界に一つだけの自分の飛行機で楽しく遊ぶ子ども達の姿に、確かな成長を感じ、うれしく思いました。
　12 月、寒くなってきました。
　風邪をひかないように衛生面に気を付けて、元気に過ごしましょう。

保育所等訪問支援１１月のある日あるとき

11 月の訪問は、子どもの姿に大きくうなづく場面がどこでも多かったなと思います。“わかっていることが増えてきましたね”“だからまわりに目が向くようになってきたのですね”という訪問での手応えを担任の先生にお伝えすると、「そうなんですよ！」と嬉しそうなお返事。“お友達と一緒に過ごすことが心地よくなってきているみたいですね”“なので、同じ場所にいる時間が長くなって、少しずつ流れに乗れるようになっていますね”とお伝えすると、「そうなんです。みんなに合わせて過ごすことが楽しくなってきたようです」と、いろいろなエピソードを付け加えたお話が続きます。

関わる楽しさ、共にする気持ちよさを、あまり背伸びせずに感じられるようになると、余力がいろいろなことに活きていく。

そんな好循環を 11 月はたくさん見せていただきました。伸びてきた面が明確になると、支援の課題も整理でき、絞れてくるものです。

今後の訪問に活かしていきたいと思います。よろしくお願いします。

☆お　礼☆

陶器のコップ、お皿をいくつもいただきました。放デイのおやつの時間に使わせていただきます。ミニカーもいただきました。大切に使わせていただきます。気分新たに支援に力が入ります。ありがとうございます。

つながりリレーコラム

第 16 回目は、飯能市立山手保育所所長　岡野　操　先生 です。

平成 27 年の子ども・子育て支援新制度や平成 30 年の保育指針改定により、子育てに関係する諸施設と、子育て家庭、地域社会とが、より強くつながっていくことが求められています。地域にある保育所への期待が高まり、これまで保育所が地域で果たしてきた役割より更に一歩進んだ取り組みを考えていく時が来ました。

保育所の子ども達を中心にして何ができるか。手軽にできて、子どもも、大人も楽しいこと。飯能市公立保育所は、昨年から保育所の『さんぽ』に地域のシルバー世代の方に一緒に行っていただく企画を始めました。おじいちゃんやおばあちゃんと手をつないで出かける散歩は、いつもの散歩と一味違います。子ども達の小さな手におばあちゃんの手のぬくもりが伝わります。自然や遊び、その土地についての知識など、おじいちゃんが教えてくれます。

少子高齢化が大課題の我が市ですが、元気なシルバー世代はたくさんいらっしゃいます。

『ほんわかさんぽ』と名付けたこの取り組みが、徐々に定着し始めて、どの保育所でも、毎回参加していただける方が増えてきています。

各地区の自治会をはじめ、交差点での見守り隊や、行政センターでのサークル等、生活文化の継承や街の活性化には、なくてはならない方々です。そんな頼りになる方々を巻き込んで、保育所の子ども達とシルバー世代をつなぐ新たな事業です。

「知っている子どもの声は気にならないのに、知らない子どもの声はうるさいと感じる」と聞くことがあります。地域の誰もが、子どもに優しくしなければならないわけでは決してありませんが、ただ顔見知りになれたらどうでしょう。子ども達のことをうるさいと感じていたという方も、気にならなくなっていくでしょうし、公園で泣いている子にも声をかけやすくなっていきます。

核家族が増えて、地域に身寄りがなく、孤立している子育て親子にも、喜びと楽しさを味わえる子育て環境を作りたい。保育所が持つ専門性や情報を地域の活性化に活かし、保育所の保育士が核となって地域の方々との和を紡いでいけば…。

子どもを中心に地域の人々がつながる。子どもを温かく迎えられる。自分らしく肩肘張らずに生活していける場。

子ども達が自分の育った地域で、自分らしく生活できる。

そんな地域社会であると素敵ですね。

児童発達支援センター　あんず